

## 再生可能ディーゼルの原料 - 代替クリーンエネルギー 投資パート 1



Fiona Boal

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス  
コモディティおよび実物資産のヘッド

この資料は、2021年4月8日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語をご参照下さい。

英語版：<https://www.indexologyblog.com/2021/04/08/renewable-diesel-feedstock-an-alternative-clean-energy-investment-part-1/>

再生可能ディーゼル<sup>1</sup>は、新しいクリーンエネルギー燃料の1つです。再生可能ディーゼルは、炭素排出量を減らし、硫黄含有量が超低硫黄軽油よりも最大 85%少ないため、人気となっています。大気汚染防止規制やサステナビリティ目標が一般的になるに従って、再生可能ディーゼルの人気は引き続き高まる可能性があります。再生可能ディーゼルは、原油から精製される軽油と混合されることなしに、従来の自動車エンジンに給油することができるため、低公害製品の生産を目指している精製業者にとって魅力的です。

米国エネルギー省によると、エネルギー情報局は再生可能ディーゼルの生産量を発表していませんが、米国環境保護庁のデータに基づくと、米国では 2019 年に 9 億ガロン以上が消費されていたことを示しています。低炭素燃料基準 (LCFS) の下での経済的メリットを理由に、国内で生産された再生可能ディーゼルおよび輸入された再生可能ディーゼルのほぼすべてがカリフォルニア州で使用されています。世界の再生可能ディーゼルの供給量は、2023 年までに 30 億ガロン、2025 年までに 50 億ガロンを超えると S&P グローバルプラッツは予測しています。

精製業者は、使用済み食用油に加え、動物性油脂や植物油から再生可能ディーゼルを生産することができます。いくつかの植物油はコモディティ・デリバティブを通じて幅広く取引されており、グリーン燃料へのエクスポージャーを求める市場参加者にとって、これらの商品は代替的な投資手段になる可能性があります。

これらの原料から絞り取られる油の割合は様々ですが、大豆以外の原料はすべて搾油が主な目的です。すなわち、これらの原料から絞り取られる最も貴重な製品は油であり、この油がこれらの原料に対する需要の主な牽引役となっています (図表 1 参照)。

図表 1：再生可能ディーゼル用植物油原料

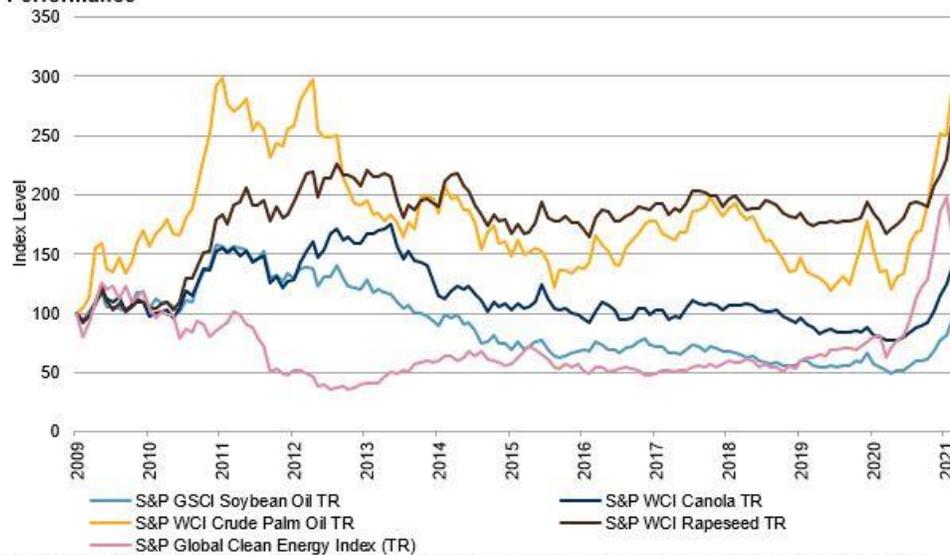
原料	油 (%)	油粕 (%)	主目的
菜種	40～45	55～60	搾油
アブラヤシ	40～45	55～60	搾油
カノーラ	45	55	搾油
大豆	20	80	油粕 (ミール)

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、Feedipedia、Canola Council of Canada。2020 年のデータ。表は説明目的のために提示されています。

再生可能ディーゼルの原料のパフォーマンスは過去 12 ヶ月間において堅調に推移しており、既存の精製業者からの旺盛な在庫補充需要や、生産能力が今後数年間にわたり大幅に拡大するとの期待感を反映しています（図表 2 参照）。バイデン政権が公約したクリーンエネルギー革命は、植物油と動物油に対するこうした新しい需要の牽引役を定着させる上で有益となる可能性があります。ただし、従来からの食品としての食用油やミールに対する需要も高まっています。家畜や家禽の飼料に対する需要が世界的に拡大していることなどから、米国農務省は国内の加工業者や輸出業者からの大豆需要が、2021 年に過去最高を記録すると予測しています。

図表 2：再生可能ディーゼル原料指数および S&P グローバル・クリーンエネルギー指数のパフォーマンス

Exhibit 2: Renewable Diesel Feedstock Indices and S&P Global Clean Energy Index Performance



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data from January 2009 to March 2021. Index performance based on total return in USD. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes and reflects hypothetical historical performance. The S&P WCI Canola, S&P WCI Crude Palm Oil, and S&P WCI Rapeseed were launched June 29, 2010.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2009 年 1 月～2021 年 3 月までのデータ。指数のパフォーマンスは米ドル建てのトータル・リターンに基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されており、仮説に基づいた過去のパフォーマンスを反映しています。S&P WCI カノーラ指数、S&P WCI パーム原油指数、S&P WCI 菜種指数は 2010 年 6 月 29 日に算出を開始しています。

長期的には、電気自動車の導入によって、再生可能ディーゼルの原料としての食用油の使用量の増加が抑えられる可能性があります。再生可能ディーゼルはトラックや列車などの重量輸送にとって依然として必要であると考えられます。

S&P DJI の再生可能ディーゼル原料指数の詳細については、<https://www.spglobal.com/spdji/>をご覧ください。S&P GSCI は 30 周年を迎えますので、この機会に是非ご確認ください。

<sup>1</sup> 欧州では、再生可能ディーゼルは水素化植物油 (HVO) として知られています。

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。免責条項をお読み下さい。

## S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S&Pグローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2021 年。不許複製。Standard & Poor's, S&P、は、S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービスズ LLC (以下「S&P」)の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を画面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることに保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ「[Indexology](https://www.indexologyblog.com)」(英語)をご覧になりたい方は、こちらのサイト

[www.indexologyblog.com](https://www.indexologyblog.com) よりご登録いただけますと、更新の都度メッセージが届きます。